



Logistics Partner,
SANRITSU

2018年3月期

中間報告書

2017年4月1日～2017年9月30日

証券コード:9366





代表取締役 社長執行役員

三 井 康 英

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

ここに2018年3月期第2四半期連結累計期間(2017年4月1日～2017年9月30日)の事業概況についてご報告申しあげます。

当第2四半期連結累計期間における日本の経済状況は、雇用状況や所得の改善により緩やかな回復基調となりました。世界経済は、海外政治・世界情勢の不透明感が続いている中、総じて緩やかに拡大いたしました。

物流業界におきましては、国内貨物は堅調な設備投資を受けて生産関連貨物を中心に増加いたしました。国際貨物は世界経済の拡大基調により各方面の輸出入の取扱高が増加いたしました。

このような事業環境の中、当社は無線通信機器の取扱いが減少したものの、国際航空貨物及び制御システム取扱いにおける新規案件に加え、工作機械のスポット受注が増加したことにより、売上高は大幅に増加いたしました。利益面におきましては、売上高の増加及び賃貸ビル事業において満室が寄与したことにより、営業利益は増加いたしました。

中国連結子会社におきましては、前期に整理した華東地区の子会社2社が連結対象から外れたことにより、売上高は減少いたしました。利益面におきましては、赤字子会社2社を整理したことに加え、上海地区子会社における工作機械の取扱いが好調に推移したことにより増加いたしました。

米国連結子会社におきましては、主要顧客の大幅増産に伴う工作機械のスチール梱包業務が好調を維持したことにより、売上高、営業利益ともに増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高77億52百万円(前年同期比7.9%増)、営業利益2億90百万円(同33.0%増)、経常利益2億41百万円(同52.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1億56百万円(同311.6%増)となりました。

株主の皆様には、より一層のご支援を賜りますようお願い申しあげます。

2017年11月

Contents

ご挨拶	P1
財務ハイライト	P2
セグメントの業績	P3
四半期連結財務諸表(要旨)	P5
特集	P7
トピックス	P8
株式の状況	P9
会社概要	P10

コーポレートステートメント

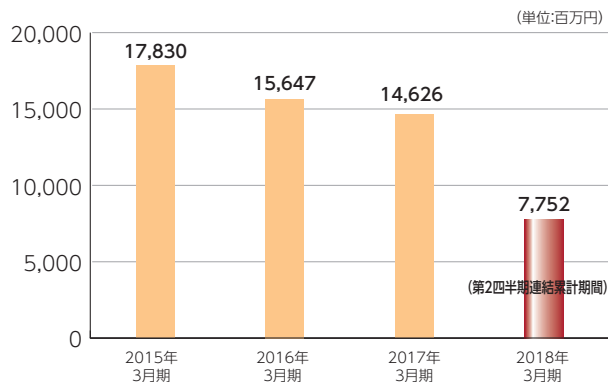
地球をつつむ思いやり
ロジスティクスパートナー サンリツ

連結

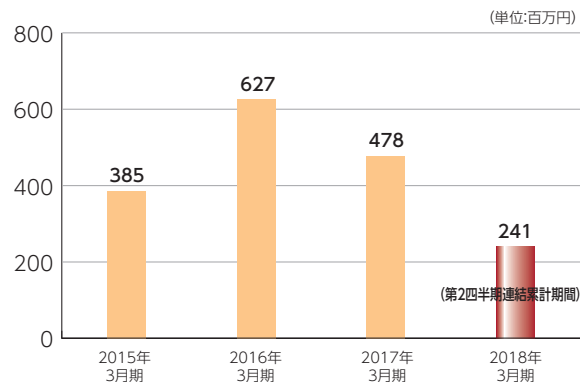
(単位:百万円 未満切捨)

決算期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年3月期 第2四半期連結累計期間
売上高	17,830	15,647	14,626	7,752
経常利益	385	627	478	241
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	126	305	258	156
純資産額	7,070	7,047	7,130	7,268

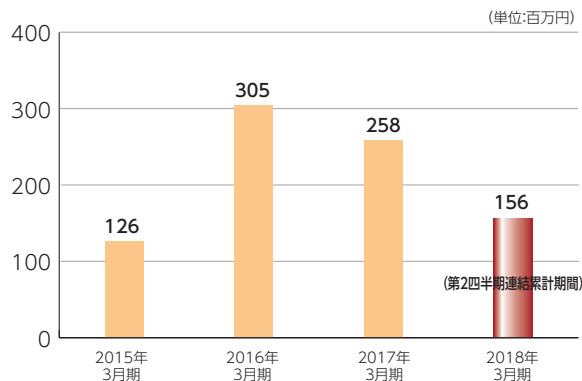
売上高



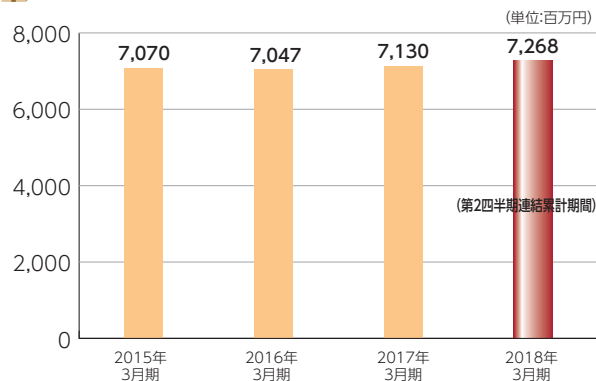
経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



純資産額

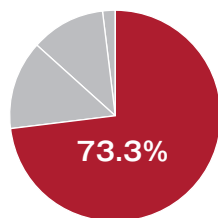
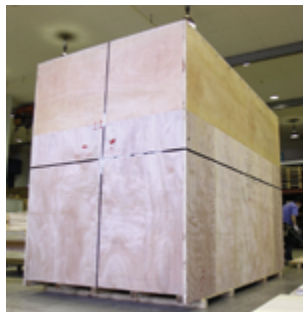


セグメントの業績

事業の種類別セグメント

梱包事業部門

電子・通信機器、硝子製品、工作機械、医療機器等の梱包及び木箱製造等を行っており、顧客のニーズに合わせた梱包仕様の提案をいたします。



新規案件が大きく寄与したほか、海外子会社の業績が工作機械取扱い増加及び中国事業再編等により改善したことで、売上高及びセグメント利益ともに増加いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高56億79百万円(前年同期比10.8%増)、セグメント利益5億10百万円(同12.4%増)となりました。

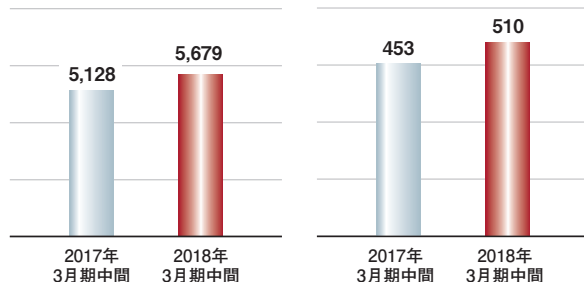
売上高 56億79百万円(前年同期比+10.8%)

セグメント利益 5億10百万円(前年同期比+12.4%)

(単位：百万円)

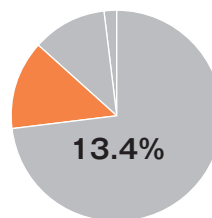
●売上高

●セグメント利益



運輸事業部門

電子・通信機器、硝子製品、工作機械及び医療機器等のトラック輸送を行っており、安全かつ低コストをモットーに全国各地に配送いたします。



無線通信機器の取扱いが減少したものの、医療機器及び国際航空貨物の取扱いが増加したことにより、売上高はほぼ前年並みとなりました。

この結果、当該部門の業績は、売上高10億36百万円(前年同期比0.1%減)、セグメント利益33百万円(同30.7%増)となりました。

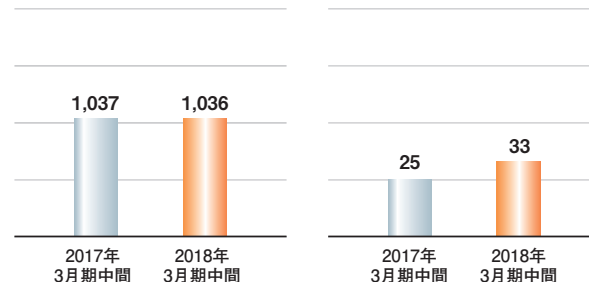
売上高 10億36百万円(前年同期比△0.1%)

セグメント利益 33百万円(前年同期比+30.7%)

(単位：百万円)

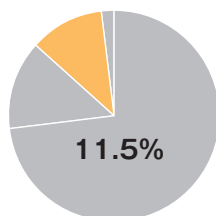
●売上高

●セグメント利益



倉庫事業部門

保管、入出庫及び賃貸を行っており、様々な流通加工に適した倉庫をご用意しております。



国際航空貨物取扱いにおける新規案件の開始が売上高に寄与しましたが、前期発生したスポット売上がなくなったことにより、売上高及びセグメント利益ともに微減となりました。

この結果、当該部門の業績は、売上高8億95百万円(前年同期比0.9%減)、セグメント利益1億63百万円(同7.0%減)となりました。

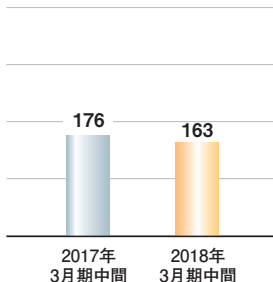
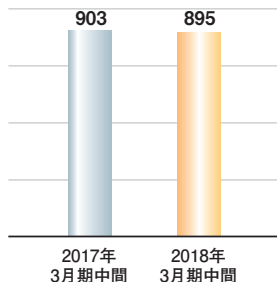
売上高 8億95百万円(前年同期比△0.9%)

セグメント利益 1億63百万円(前年同期比△7.0%)

(単位：百万円)

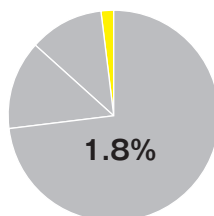
●売上高

●セグメント利益



賃貸ビル事業部門

サンリツ本社ビルにおいて、事務所及び共同住宅の賃貸を行っております。



フリーレント期間が終了したことにより、売上高及びセグメント利益ともに増加いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高1億41百万円(前年同期比19.7%増)、セグメント利益51百万円(同136.5%増)となりました。

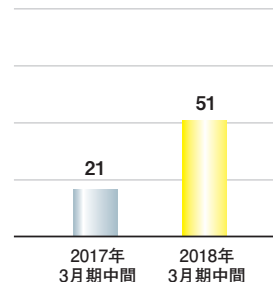
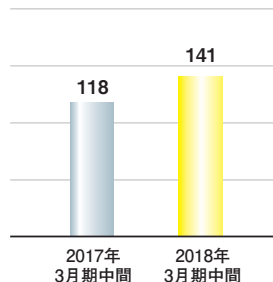
売上高 1億41百万円(前年同期比+19.7%)

セグメント利益 51百万円(前年同期比+136.5%)

(単位：百万円)

●売上高

●セグメント利益



四半期連結財務諸表(要旨)

四半期連結貸借対照表

(単位:百万円 未満切捨)

科 目	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
資 産 の 部		
I 流動資産	4,863	4,968
現金及び預金	1,424	1,259
受取手形及び売掛金	3,047	3,262
原材料及び貯蔵品	107	130
繰延税金資産	110	108
その他	179	212
貸倒引当金	△6	△5
II 固定資産	13,960	13,855
有形固定資産	12,098	11,966
建物及び構築物(純額)	7,666	7,479
機械装置及び運搬具(純額)	86	83
土地	2,303	2,303
リース資産(純額)	2,010	1,896
建設仮勘定	—	168
その他(純額)	31	35
無形固定資産	105	89
ソフトウェア	104	89
その他	0	0
投資その他の資産	1,757	1,799
投資有価証券	450	508
破産更生債権等	8	7
繰延税金資産	662	647
その他	640	644
貸倒引当金	△4	△7
資産合計	18,823	18,824

科 目	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
負 債 の 部		
III 流動負債	3,700	3,824
支払手形及び買掛金	569	502
短期借入金	1,813	1,791
リース債務	246	248
未払法人税等	46	126
賞与引当金	275	267
その他	748	889
IV 固定負債	7,993	7,731
長期借入金	4,535	4,396
リース債務	1,860	1,734
退職給付に係る負債	826	843
資産除去債務	414	419
長期預り金	207	208
金利スワップ	148	128
負債合計	11,693	11,556

純 資 産 の 部		
株主資本	7,055	7,121
資本金	2,523	2,523
資本剰余金	2,441	2,441
利益剰余金	2,298	2,365
自己株式	△208	△208
その他の包括利益累計額	△23	35
その他有価証券評価差額金	154	194
繰延ヘッジ損益	△103	△88
為替換算調整勘定	△6	△7
退職給付に係る調整累計額	△67	△62
新株予約権	—	12
非支配株主持分	99	98
V 純資産合計	7,130	7,268
負債純資産合計	18,823	18,824

四半期連結損益計算書

(単位:百万円 未満切捨)

科 目	前第2四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)
Ⅵ 売上高	7,187	7,752
売上原価	5,827	6,340
売上総利益	1,359	1,411
販売費及び一般管理費	1,141	1,121
Ⅶ 営業利益	218	290
営業外収益	16	15
営業外費用	76	63
経常利益	158	241
特別利益	0	0
特別損失	94	—
税金等調整前四半期純利益	64	241
法人税、住民税及び事業税	17	89
法人税等調整額	9	△2
四半期純利益	37	154
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	37	156

ポイント Ⅰ

流動資産につきましては、49億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億5百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の減少1億65百万円、受取手形及び売掛金の増加2億15百万円、原材料及び貯蔵品の増加23百万円、その他流動資産の増加33百万円によるものであります。

ポイント Ⅱ

固定資産につきましては、138億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億4百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産において、建物及び構築物の減少1億86百万円、リース資産の減少1億14百万円、建設仮勘定の増加1億68百万円、無形固定資産において、ソフトウェアの減少15百万円、投資その他の資産において、投資有価証券の増加57百万円、繰延税金資産の減少15百万円によるものであります。

ポイント Ⅲ

流動負債につきましては、38億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億24百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少67百万円、短期借入金金の減少22百万円、未払法人税等の増加79百万円、その他流動負債の増加1億40百万円によるものであります。

ポイント Ⅳ

固定負債につきましては、77億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億61百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金金の減少1億38百万円、リース債務の減少1億25百万円によるものであります。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円 未満切捨)

科 目	前第2四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)
Ⅷ 営業活動によるキャッシュ・フロー	283	453
投資活動によるキャッシュ・フロー	△125	△244
財務活動によるキャッシュ・フロー	△558	△373
現金及び現金同等物に係る換算差額	△33	△0
現金及び現金同等物の増減額	△433	△165
現金及び現金同等物の期首残高	2,384	1,424
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,951	1,259

ポイント Ⅴ

純資産につきましては、72億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億37百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加66百万円、その他有価証券評価差額金の増加39百万円、繰延ヘッジ損益の増加14百万円、新株予約権の増加12百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の37.4%から38.0%となりました。

ポイント Ⅵ

無線通信機器の取扱いが減少したものの、国際航空貨物及び制御システム取扱いにおける新規案件に加え、工作機械のスポット受注が増加したことにより、売上高は大幅に増加し、77億52百万円(前年同期比7.9%増)となりました。

ポイント Ⅶ

売上高の増加及び賃貸ビル事業において満室が寄与したことにより営業利益は増加し、2億90百万円(前年同期比33.0%増)となりました。

ポイント Ⅷ

営業活動の結果得られた資金は4億53百万円(前年同期は2億83百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2億41百万円、減価償却費3億44百万円、売上債権の増加2億15百万円、仕入債務の減少68百万円によるものであります。

取扱製品別の物流について《医療機器》

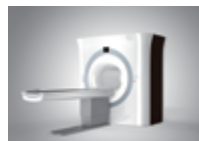
2017年4月よりスタートした中期経営計画において、当社では取扱う製品別に戦略を立て事業を展開していくととしています。今回は、近年注力しております医療機器の物流についてご紹介いたします。

取扱製品

重量製品：MRI（磁気共鳴断層撮影装置）、
CT（コンピュータ断層撮影装置）、
外科用X線撮影装置 等
軽量製品：カテーテル、ペースメーカー 等



CT



MRI

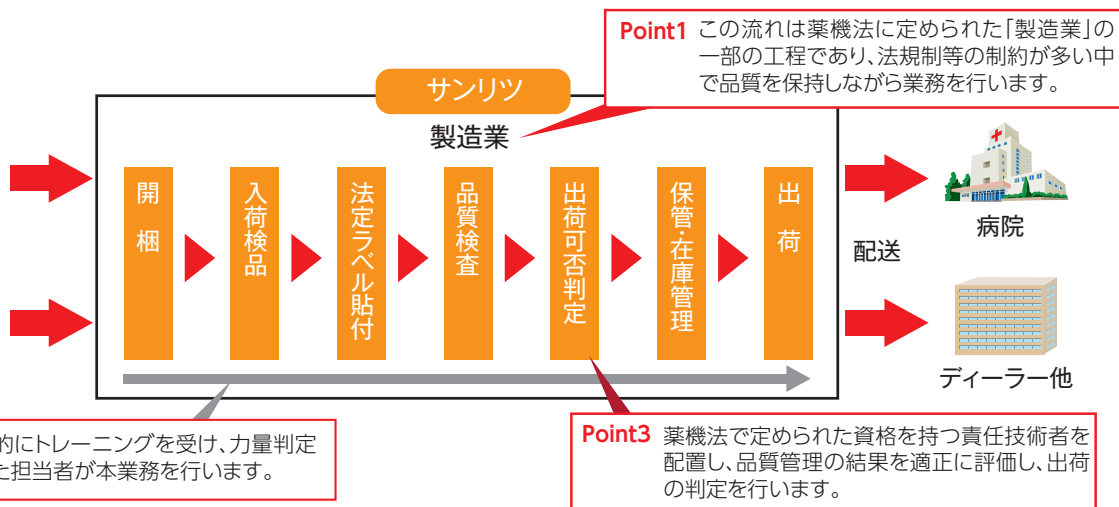


カテーテル



ペースメーカー

物流の流れ



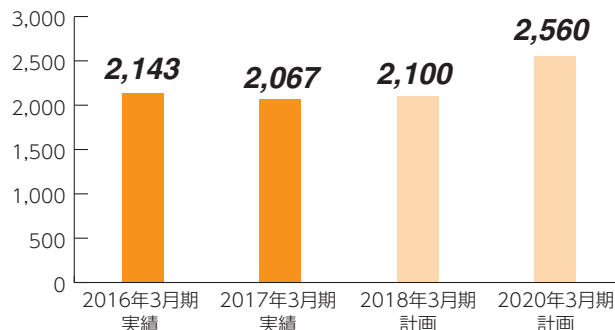
今後のターゲット

- 高度管理医療機器（機器に不具合が生じた場合、生命のリスクに直結するおそれがある機器類、人体へのリスクが比較的高いと考えられる機器類）を扱うメーカー様を中心に、新規のお客様を開拓していきます。
- これら機器を扱うお客様は品質に対し厳しい目を持っていることから、当社の専門知識や品質管理、付加価値の高い倉庫を活用した貢献ができるためです。

売上実績及び計画

単位：百万円

売上高



当社社長がラジオNIKKEIに出演しました

IRの一環として、9月12日に、三浦康英社長がラジオに出演いたしました。

この番組は“相場の福の神”こと藤本誠之氏がパーソナリティを務める番組で、藤本氏が独自の視点で厳選した注目上場企業と対談を行うものです。

当社のことを分かりやすくお伝えする内容となっておりますので、是非以下の番組サイトよりご視聴ください。



(左)三浦社長 (右)ホスト役・藤本誠之氏



生番組出演風景です

番組名

ラジオNIKKEI 「この企業に注目！ 相場の福の神」

<http://www.radionikkei.jp/podcasting/fukunokami/2017/09/player-93661.html>

番組日時:2017年9月12日(火)11:15～11:30

卓球部の活動報告

第67回 全日本実業団卓球選手権大会 準優勝

2017年7月20日～23日に、豊田市総合体育館(スカイホール豊田)にて第67回全日本実業団卓球選手権大会が開催されました。

女子団体では、準決勝にて強敵日本生命保険相互会社を相手に3対1で快勝し決勝に進出しました。

決勝では、アスモ株式会社(静岡)に、トップの平選手がゲームオールの激闘を制し、ダブルスも取り優勝に王手をかけましたが、わずかに及びませんでした。4番の松本選手は、0対2の劣勢からフルゲームに持ち込み、チャンピオンシップポイントを奪う場面もありましたが、「あと1点」を取ることができませんでした。

惜しくも優勝を逃したものの善戦し準優勝となりました。



女子団体 決勝 サンリツ(東京) 2対3 アスモ(静岡)

左より高橋結女選手、森園美月選手、松本優希選手、平佑里香選手、天野優選手、大矢未早希選手、森田有城コーチ、近藤欽司総監督

株式の状況

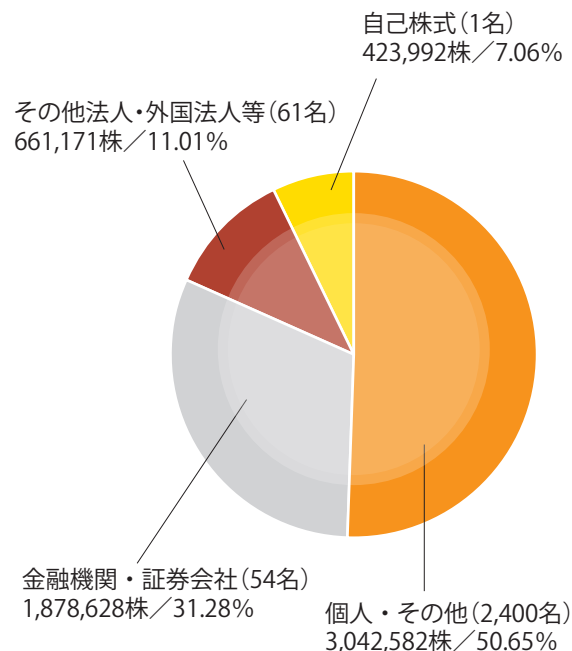
発行可能株式総数 24,000,000株
 発行済株式の総数 6,006,373株 (自己株式423,992株を含む)
 株主数 2,516名

大株主

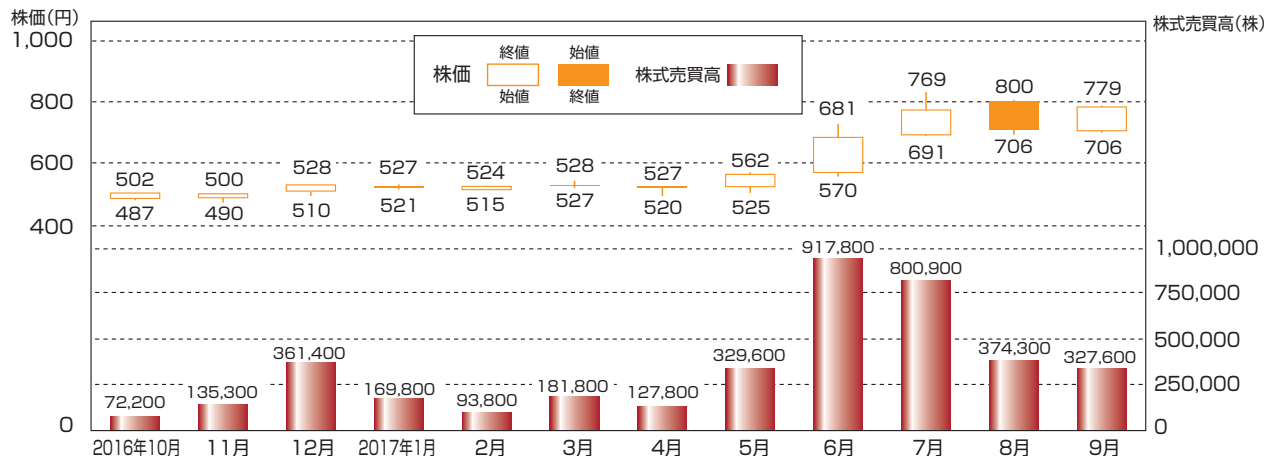
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	391	7.01
サンリツ共栄会	364	6.53
(株)三井住友銀行	183	3.29
三井住友信託銀行(株)	181	3.25
福松博史	175	3.13
(株)りそな銀行	169	3.04
日本証券金融株式会社	166	2.98
野島岳史	143	2.57
日本建設(株)	134	2.41
(株)三菱東京UFJ銀行	132	2.37

(注) 1. 当社は、自己株式423,992株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
 また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。
 2. 上記の持株数のうち、信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。
 日本トラスティ・サービス信託銀行(株) 391千株

株式分布状況



株価・株式売買高の推移



当 社

商 号 株式会社サンリツ

(英文表示) (SANRITSU CORPORATION)

本 社 東京都港区港南二丁目12番32号

設 立 1948(昭和23)年3月

資 本 金 2,523,866千円

従 業 員 数 連結:390名 単体:301名

事 業 内 容 梱包事業、運輸事業、倉庫事業、賃貸ビル事業

主 な 事 業 所

本 社 東京都港区

白 石 事 業 所 宮城県白石市

郡 山 事 業 所 福島県郡山市

成田第一事業所 千葉県成田市

成田第二事業所 千葉県成田市

筑 波 事 業 所 茨城県稲敷郡

横 浜 事 業 所 神奈川県横浜市鶴見区

京 浜 事 業 所 神奈川県横浜市神奈川区

厚 木 事 業 所 神奈川県厚木市

村 山 事 業 所 東京都武蔵村山市

豊 田 事 業 所 東京都日野市

八王子事業所 東京都八王子市

山 梨 事 業 所 山梨県中巨摩郡

富 山 事 業 所 富山県富山市

連 結 子 会 社

会 社 名	資本金 (単位未満切捨)	議決権比率 (%)	主 な 事 業 内 容
千葉三立梱包運輸(株)	25百万円	80	硝子及び一般貨物の包装梱包、工場内荷役作業、貨物自動車運送事業、倉庫業並びに包装資材の販売
山立国際貨運代理(上海)有限公司	10,000千CNY	100	国際貨運代理業
SANRITSU LOGISTICS AMERICA Inc.	800千USD	100	国際貨物の包装梱包、自動車運送事業、倉庫事業

CNY…中国人民元 USD…米国ドル
(注)当社の連結子会社は、上記の3社であり、持分法適用会社はありません。

役 員

代表取締役社長執行役員 三 浦 康 英

取締役専務執行役員 平 輪 貢

取締役常務執行役員 田 中 光 晴

取締役執行役員 尾留川 一 仁

取締役執行役員 松 尾 学

取締役監査等委員 高 橋 弘 充

取締役監査等委員 篠 田 易 男

取締役監査等委員 稲 永 誠

(注)高橋弘充、篠田易男及び稲永誠は、社外取締役であります。



株式会社 サンリツ

〒108-0075 東京都港区港南二丁目12番32号

TEL.03-3471-0011 FAX.03-3471-1464

<http://www.srt.co.jp/>

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

単元株式数 100株
上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部
株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人
事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-782-031 (平日 午前9時～午後5時)

(インターネットホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告掲載方法 電子公告(公告掲載URL <http://www.srt.co.jp/>)

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用していなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。